

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス基礎		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Moo(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。				

授業概要

- ・ストレッチ・筋トレ
- ・JAZZを中心としたベーシック(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン)
- ・コンビネーション・振り付け

到達目標

- ・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。
- ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。
- ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。
- ・様々な場面でのステージング、板のつき方を理解する。

□

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	ストレッチ、筋トレ、体幹トレーニング、呼吸、基礎体力の向上。□
【前期】 4～7回目	ダンスジャンル理解。JAZZダンスを中心としたベーシック(アイソレーション、リズム、プリエ、ターン)
【前期】 8～10回目	ベーシック強化プリエ、ターン編。フロアコンビネーション習得。
【前期】 11～13回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【前期】 14～17回目	JAZZダンスを中心としたベーシック+クロスフロア 振り付け習得 ◆前期テスト・「基礎体力テスト・クロスフロア・振り付け」の達成を確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「筋トレ / アイソレーション / リズム / 基本ステップ / 振付」の5項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 より豊かなミュージックライフのお供になる授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				

授業概要

ボーカロイドソフトの基本的な操作方法から学んでいきましょう。
又、歌い回しを工夫したり、ダイナミクスをつけることで、奥深い作品を作り上げることができるようになります。

到達目標

ボーカロイドソフトを使用して人間味のある歌わせ方ができるようになること。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。
【前期】 4～7回目	歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。
【前期】 8～10回目	目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。
【前期】 11～13回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【前期】 14～17回目	作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。 ■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				

授業概要

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきたDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

到達目標

PC(Mac)やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【前期】 4～7回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊
【前期】 8～10回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ
【前期】 11～13回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器
【前期】 14～17回目	前期テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。 ■前期試験:前期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	パーカッション		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				

授業概要

様々なパーカッションに触れ、国のルーツやリズムパターン、奏法や知識を習得します。

到達目標

- ・世界を知るキッカケとなり、そのジャンルとリズムを知る。
- ・たくさんのパーカッションに触れ、リズム感や楽曲へのスパイスを知る。
- ・様々な楽器の奏法やリズムを知る事で他パートと合わせて演奏する事ができる。
- ・楽曲に対して、アレンジや要素としてパーカッションをピックアップできるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラベ等の奏法を学ぶ。 【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。 【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。
【前期】 4～7回目	【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。 【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。
【前期】 8～10回目	【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。
【前期】 11～13回目	【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。 【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【前期テスト】
【前期】 14～17回目	【アンサンブル3】それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。 【前期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。 ■前期試験:楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	パーカッションと一つに言っても、数え切れないほど世界にはたくさん存在します。少しでもその楽器に触れたり演奏してみたりすると、ギターベースドラムといったバンドサウンドの中にパーカッション要素を取り入れられたり、パーカッションだけで演奏できたりと、アンサンブルや楽曲アレンジ面でも可能性がグンと広がります。たくさん触れて体験し、そして体感してみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				

授業概要

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

到達目標

- ・ダイアトニックコードを理解する。
- ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。
- ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【前期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【前期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【前期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【前期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■前期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・中西圭三、TAKUYA(ex.JAM)、TOKIE(ex.ライズ)、唄人羽等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン				

授業概要

- ・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
- ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングを試みる。
- ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
- ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

到達目標

- ・リズム感を養う。
- ・拍や小節の概念を知る。
- ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。
- ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカバー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。
- ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【前期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【前期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【前期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【前期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム感/指定ビート/指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/指定ビート/指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色々なリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。				

授業概要

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

到達目標

- ・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。
- ・理論やベースにおける知識を身につける。
- ・ベースラインを作成し実際にプレイする。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【前期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【前期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【前期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【前期】 14～17回目	前期まとめ。 ■前期試験:課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンド「パノラマメロウ」で精力的な活動後、近年はメジャーアーティストのレコーディング参加やアイドルグループ楽曲へギターで参加している。これまでゴダイゴ 浅野孝己氏、直訳ロッカー 王様氏、ALLI氏などとも共演。				

授業概要

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

到達目標

- ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。
- ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。
- ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【前期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【前期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【前期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【前期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■前期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。 V3新人オーディション20thファイナリストに選出、そのポテンシャルの高さを披露。 2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6弾ファイナルアーティストに選出さる。 2016佐賀年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。				

授業概要

ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。

到達目標

- ・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。
- ・簡単なコードを引くことができるようになる。
- ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【前期】 4～7回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【前期】 8～10回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【前期】 11～13回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【前期】 14～17回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■前期試験：楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしていきます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせた課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					

授業概要

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

到達目標

- ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。
- ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。
- ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。
- ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【前期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【前期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【前期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【前期】 14～17回目	総合復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターに触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミッキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				

授業概要

ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。

到達目標

- ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。
- ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【前期】 4～7回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【前期】 8～10回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【前期】 11～13回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【前期】 14～17回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様子を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・ブライダル、アーティスト撮影、企業のCM撮影のヘアメイク等のメイクアップアーティスト。1998年より活動開始。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				

授業概要

メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。

到達目標

- ・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。
- ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。
- ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。
- ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【前期】 4～7回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【前期】 8～10回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【前期】 11～13回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【前期】 14～17回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■前期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボイトレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡を中心にヴォイストレーナーとして、音楽学校や個人レッスン等で幅広く活動中。 ハリウッド式の発声法・トレーニングを採用し、多くのヴォーカリストへ歌唱力・表現力向上の為の技術指導を行う。				

授業概要

発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。

到達目標

- ・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。
- ・発声のメカニズムへの理解する
- ・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【前期】 4～7回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【前期】 8～10回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【前期】 11～13回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【前期】 14～17回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■前期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ボイトレニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善してこれから関わっていくエンターテインメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DJ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	プロデューサー、ギタリスト、DJとして、クラブやライブの現場で20年以上活動。 アジア、ヨーロッパなど海外でもパフォーマンスを行った。 作曲した楽曲がApple musicのクラブチャートで1位を獲得や、メジャー、インディーズ問わず、作曲家として数々の楽曲を制作。 ORANCHA(Beat Maker)というソロ名義では海外で注目され、ストリーミングのトータルで1000万回以上再生されている。				

授業概要

DJの基礎であるミックステクニックや基礎的なスクラッチ操作を習得します。

到達目標

- ・DJについて理解する。
- ・DJ機材の操作を理解する。
- ・どんな曲でもミックス出来る。
- ・リズムをキープしたスクラッチが出来る。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。
【前期】 4～7回目	DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。
【前期】 8～10回目	House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。
【前期】 11～13回目	スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。
【前期】 14～17回目	15分程度のDJ MIXの作成を行う。 ■前期試験:DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	近年劇的に人口の増えているDJですが、実際難しいのか簡単なのか何をやっているのかについて理解して、機材の操作をマスターしてください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アクティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				

授業概要

演技台本やアフレコを題材に、様々な感情表現を実践する。
腹式呼吸・標準語アクセント・無声化・台詞の距離感など、発声滑舌や演技手法の基礎を学習。

到達目標

台本読解について学習する。
話すための発声・滑舌・共感力を身に着ける。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	台本読解:相手を感じ取る台本の読みとらえ方・誰に見せるのか・発声活舌 ・アフレコ①(アニメ1シーン)
【前期】 4～7回目	台本から読み取ったイメージをお芝居で表現する・アクセント ・アフレコ②(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【前期】 8～10回目	お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・無声化 ・アフレコ(映画1シーン)
【前期】 11～13回目	お芝居における台編の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・鼻濁音 ・アフレコ③(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技・台本読解
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/適切な情報判断/演技力/授業に取り組む姿勢/スタジオワーク」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分自身と向き合って、表現する清々しさを体感しましょう！
備考	都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。また照明エンジニアの経験も活かしたアプローチを得意とする。				

授業概要

- ①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。
 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。

到達目標

- ・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。
- ・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【前期】 4～7回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【前期】 8～10回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【前期】 11～13回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明は幅広く自由な表現が出来る仕事です。目に見えない音に自分だけの色や動きを付けて楽しみましょう!
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ローディー、マニピュレーターとして全国ツアーに同行し、福岡を拠点に楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。 SunsetLive、NumberShot、BARIYOKA ROCK、阿蘇ROCK、SkyJamboreeなどの音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。 上記の経験を活かし楽器知識に関する講義を行う。				

授業概要

コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。

到達目標

それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。
楽器のセッティング方法を学ぶ。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。
【前期】 4～7回目	ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。
【前期】 8～10回目	キーボードやMIDIについて学ぶ
【前期】 11～13回目	ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。
【前期】 14～17回目	簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 ドラムセットの組み方など実技試験を行う。
学生へのメッセージ	音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。 それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋がってください。
備考	必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。				

授業概要

- ①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
- ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

到達目標

- ・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。
- ・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。
- ・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。
- ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【前期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【前期】 8～10回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【前期】 11～13回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	モデル		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	(株)Applause代表。 U.S.A広報プログラムにより、ニューヨークにおいて92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて、福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。				

授業概要

東京コレクションの演出を担当。モデルから俳優・タレント・ミュージシャンそれぞれの個性を生かした見せ方を、基礎のウォーキング・ポージングから始まり、すべてのパフォーマンスに対応できるレッスンを楽しみながらやります。

到達目標

写真・映像・ステージで自分をアピールすることが出来るようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	普段の歩き、座りなどの動作を繰り返す事で、自分の癖や個性を確認していく。
【前期】 4～7回目	他人から見られる、客観的な自分を解説・実習。
【前期】 8～10回目	一人一人の個性を生かしながら、動く(立ち姿・歩く・座る・ポーズ)などを実習。
【前期】 11～13回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(前期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。 上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。				

授業概要

- ①アナログの音響卓の操作。
- ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
- ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

科目のねらい

- ・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。
- ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【前期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスポータル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【前期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【前期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【前期】 14～17回目	前期試験準備。 ■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス基礎		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Moo(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。				

授業概要

- ・ストレッチ・筋トレ
- ・JAZZを中心としたベーシック(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン)
- ・コンビネーション・振り付け

到達目標

- ・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。
- ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。
- ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。
- ・様々な場面でのステージング、板のつき方を理解する。

□

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	ストレッチ、筋トレ、体幹トレーニング、呼吸、基礎体力の向上。□
【後期】 4～7回目	ダンスジャンル理解。JAZZダンスを中心としたベーシック(アイソレーション、リズム、プリエ、ターン)
【後期】 8～10回目	ベーシック強化プリエ、ターン編。フロアコンビネーション習得。
【後期】 11～13回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【後期】 14～17回目	JAZZダンスを中心としたベーシック+クロスフロア 振り付け習得 ◆後期テスト・「基礎体力テスト・クロスフロア・振り付け」の達成を確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「筋トレ / アイソレーション / リズム / 基本ステップ / 振付」の5項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 より豊かなミュージックライフのお供になる授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				

授業概要

ボーカロイドソフトの基本的な操作方法から学んでいきましょう。
又、歌い回しを工夫したり、ダイナミクスをつけることで、奥深い作品を作り上げることができるようになります。

到達目標

ボーカロイドソフトを使用して人間味のある歌わせ方ができるようになること。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。
【後期】 4～7回目	歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。
【後期】 8～10回目	目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。
【後期】 11～13回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【後期】 14～17回目	作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。 ■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				

授業概要

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきたDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

到達目標

PC(Mac)やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 4～7回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 8～10回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 11～13回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 14～17回目	後期テストに向けて完成を目指す。 ■後期試験:後期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	パーカッション		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				

授業概要

様々なパーカッションに触れ、国のルーツやリズムパターン、奏法や知識を習得します。

到達目標

- ・世界を知るキッカケとなり、そのジャンルとリズムを知る。
- ・たくさんのパーカッションに触れ、リズム感や楽曲へのスパイスを知る。
- ・様々な楽器の奏法やリズムを知る事で他パートと合わせて演奏する事ができる。
- ・楽曲に対して、アレンジや要素としてパーカッションをピックアップできるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラベ等の奏法を学ぶ。 【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。 【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。
【後期】 4～7回目	【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。 【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。
【後期】 8～10回目	【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。
【後期】 11～13回目	【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。 【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【後期テスト】
【後期】 14～17回目	【アンサンブル3】それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。 【後期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。 ■後期試験:楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	パーカッションと一つに言っても、数え切れないほど世界にはたくさん存在します。少しでもその楽器に触れたり演奏してみたりすると、ギターベースドラムといったバンドサウンドの中にパーカッション要素を取り入れられたり、パーカッションだけで演奏できたりと、アンサンブルや楽曲アレンジ面でも可能性がぐんと広がります。たくさん触れて体験し、そして体感してみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				

授業概要

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

到達目標

- ・ダイアトニックコードを理解する。
- ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。
- ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【後期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【後期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【後期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【後期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■後期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・中西圭三、TAKUYA(ex.JAM)、TOKIE(ex.ライズ)、唄人羽等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン				

授業概要

- ・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
- ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングを試みる。
- ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
- ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

到達目標

- ・リズム感を養う。
- ・拍や小節の概念を知る。
- ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。
- ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。
- ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【後期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【後期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【後期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【後期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■後期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色々なリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。				

授業概要

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

到達目標

- ・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。
- ・理論やベースにおける知識を身につける。
- ・ベースラインを作成し実際にプレイする。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【後期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【後期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【後期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【後期】 14～17回目	後期まとめ。 ■後期試験:課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自身のバンド「パノラマメロウ」で精力的な活動後、近年はメジャーアーティストのレコーディング参加やアイドルグループ楽曲へギターで参加している。これまでゴダイゴ 浅野孝己氏、直訳ロッカー 王様氏、ALLI氏などとも共演。				

授業概要

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

到達目標

- ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。
- ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。
- ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【後期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【後期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【後期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【後期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■後期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。 V3新人オーディション20thファイナリストに選出、そのポテンシャルの高さを披露。 2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6弾ファイナルアーティストに選出さる。 2016佐賀年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。				

授業概要

ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。

到達目標

- ・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。
- ・簡単なコードを引くことができるようになる。
- ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【後期】 4～7回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【後期】 8～10回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【後期】 11～13回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【後期】 14～17回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■後期試験：楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしていきます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせた課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					

授業概要

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

到達目標

- ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。
- ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。
- ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。
- ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【後期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【後期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【後期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【後期】 14～17回目	総合復習 ■後期試験:課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターに触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミッキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				

授業概要

ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。

到達目標

- ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。
- ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【後期】 4～7回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【後期】 8～10回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【後期】 11～13回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【後期】 14～17回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・ブライダル、アーティスト撮影、企業のCM撮影のヘアメイク等のメイクアップアーティスト。1998年より活動開始。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				

授業概要

メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。

到達目標

- ・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。
- ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。
- ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。
- ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【後期】 4～7回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【後期】 8～10回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【後期】 11～13回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【後期】 14～17回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■後期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボイトレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡を中心にヴォイストレーナーとして、音楽学校や個人レッスン等で幅広く活動中。 ハリウッド式の発声法・トレーニングを採用し、多くのヴォーカリストへ歌唱力・表現力向上の為の技術指導を行う。				

授業概要

発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。

到達目標

- ・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。
- ・発声のメカニズムへの理解する
- ・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【後期】 4～7回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【後期】 8～10回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【後期】 11～13回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【後期】 14～17回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■後期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ボイトレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善して行くことでこれから関わっていくエンターテインメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DJ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	プロデューサー、ギタリスト、DJとして、クラブやライブの現場で20年以上活動。 アジア、ヨーロッパなど海外でもパフォーマンスを行った。 作曲した楽曲がApple musicのクラブチャートで1位を獲得や、メジャー、インディーズ問わず、作曲家として数々の楽曲を制作。 ORANCHA(Beat Maker)というソロ名義では海外で注目され、ストリーミングのトータルで1000万回以上再生されている。				

授業概要

DJの基礎であるミックステクニックや基礎的なスクラッチ操作を習得します。

到達目標

- ・DJについて理解する。
- ・DJ機材の操作を理解する。
- ・どんな曲でもミックス出来る。
- ・リズムをキープしたスクラッチが出来る。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。
【後期】 4～7回目	DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。
【後期】 8～10回目	House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。
【後期】 11～13回目	スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。
【後期】 14～17回目	15分程度のDJ MIXの作成を行う。 ■後期試験:DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	近年劇的に人口の増えているDJですが、実際難しいのか簡単なのか何をやっているのかについて理解して、機材の操作をマスターしてください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アクティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				

授業概要

演技台本やアフレコを題材に、様々な感情表現を実践する。
腹式呼吸・標準語アクセント・無声化・台詞の距離感など、発声滑舌や演技手法の基礎を学習。

到達目標

台本読解について学習する。
話すための発声・滑舌・共感力を身に着ける。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	台本読解:相手を感じ取る台本の読みとらえ方・誰に見せるのか・発声活舌 ・アフレコ①(アニメ1シーン)
【後期】 4～7回目	台本から読み取ったイメージをお芝居で表現する・アクセント ・アフレコ②(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【後期】 8～10回目	お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・無声化 ・アフレコ(映画1シーン)
【後期】 11～13回目	お芝居における台詞の捉え方(台詞の距離感・対象・モノローグとは)・鼻濁音 ・アフレコ③(アニメ1シーン)レコーディングスタジオでの実習
【後期】 14～17回目	■後期試験:実技・台本読解
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/適切な情報判断/演技力/授業に取り組む姿勢/スタジオワーク」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分自身と向き合って、表現する清々しさを体感しましょう！
備考	都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。また照明エンジニアの経験も活かしたアプローチを得意とする。				

授業概要

- ①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。
 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。

到達目標

- ・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。
- ・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身につける。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【後期】 4～7回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【後期】 8～10回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【後期】 11～13回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【後期】 14～17回目	■後期試験:後期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明は幅広く自由な表現が出来る仕事です。目に見えない音に自分だけの色や動きを付けて楽しみましょう!
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ローディー、マニピュレーターとして全国ツアーに同行し、福岡を拠点に楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。 SunsetLive、NumberShot、BARIYOKA ROCK、阿蘇ROCK、SkyJamboreeなどの音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。 上記の経験を活かし楽器知識に関する講義を行う。				

授業概要

コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。

到達目標

それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。
楽器のセッティング方法を学ぶ。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。
【後期】 4～7回目	ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。
【後期】 8～10回目	キーボードやMIDIについて学ぶ
【後期】 11～13回目	ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。
【後期】 14～17回目	簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 ドラムセットの組み方など実技試験を行う。
学生へのメッセージ	音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。 それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋がってください。
備考	必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。				

授業概要

- ①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
- ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

到達目標

- ・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。
- ・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。
- ・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。
- ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【後期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【後期】 8～10回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【後期】 11～13回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【後期】 14～17回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	モデル		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	(株)Applause代表。 U.S.A広報プログラムにより、ニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて、福岡のダンスウォークユニット、モデルや俳優の育成からマネジメントまで幅広く活動中。				
授業概要					
東京コレクションの演出を担当。モデルから俳優・タレント・ミュージシャンそれぞれの個性を生かした見せ方を、基礎のウォーキング・ポージングから始まり、すべてのパフォーマンスに対応できるレッスンを楽しみながらやります。					
到達目標					
写真・映像・ステージで自分をアピールすることが出来るようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	普段の歩き、座りなどの動作を繰り返す事で、自分の癖や個性を確認していく。
【後期】 4～7回目	他人から見られる、客観的な自分を解説・実習。
【後期】 8～10回目	一人一人の個性を生かしながら、動く(立ち姿・歩く・座る・ポーズ)などを実習。
【後期】 11～13回目	リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。
【後期】 14～17回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。
備考	なし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅱ(後期)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。 上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。				

授業概要

- ①アナログの音響卓の操作。
- ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
- ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

科目のねらい

- ・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。
- ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【後期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスポータル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【後期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【後期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【後期】 14～17回目	後期試験準備。 ■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布